

ORITURU

桑名市シルバー人材センター会報/折鶴

令和3年度定時総会
永年表彰
令和2年度事業報告・収支報告
定款一部改正
令和3年度事業計画・収支予算
安全就業委員会活動状況
事務局だより

2021年9月

VOL 78

収穫の秋



近鉄特急「ひのとり」をバックに長島町にて

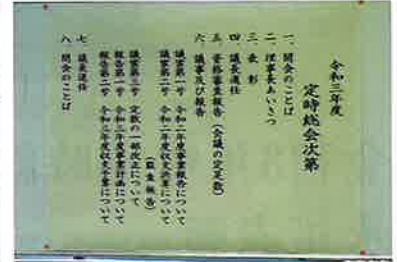
令和3年度 定時総会の開催

令和3年度定時総会は、令和3年6月4日（金）午後1時からNTNシティホール（桑名市民会館）において開催予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため会場をパブリックセンター大研修室に変更し、人数を限定して開催しました。今回は、昨年度より若干人数を増やし、理事・監事及び地区委員の方にご出席頂きました。

出席者は次の通りです。

（出席者）敬称略（33名）

藤原 隆（理事長）	樋口雅洋（日進）
青山茂孝（副理事長）	水谷嘉昭（精義）
高木 守（常務理事）	服部 裕（立教）
伊藤正男（理事）	江尻 進（益生）
伊藤雅廣（理事）	加藤 求（修徳）
片桐きゑ（理事）	河野 通（城南）
高園則雄（理事）	村上和幸（大成）
田中勝利（理事）	服部喜義（深谷）
田中雄人（理事）	大江 悟（桑部）
橋本清司（理事）	五月女益男（在良）
平野正治（理事）	伊藤敏武（七和）
福留多恵子（理事）	城田 修（久米）
森田敦子（理事）	出口 保（大山田西）
坂本秀策（監事）	蛭川二三夫（大山田東）
伊藤和代（監事）	橋本伸二（多度中南）
	笥 泰仁（多度中北）
	蛭川仁一（多度南）
	三輪孝雄（長島北部）
	（司 会）川村次長（事務局）



理事長挨拶



総会風景



議長

*今回は、通常ご出席いただいているご来賓の方は全て取りやめとしました。

尚、総会には総会員数 921 名中、出席者 33 名、委任状 688 名、計 721 名の出席者で定款により総会が成立し、青山茂孝副理事長の開会宣言に引き続き、藤原隆理事長より開会にあたっての挨拶があり、議長に田中勝利理事を選任し、審議を行いました。

審議に先立ち、代表者のみの永年表彰を行いました。



10年表彰



5年表彰

10年表彰 51名(敬称略)

伊藤 昇	水谷 敏和	伊藤 邦男	山田 陽堂	森本 光生
片桐 靖	丸山由美子	横井 弘	水谷 光子	林 一廣
水野 剛	伊藤 和代	服部 裕	岡本 一三	伊藤 昭子
水谷 晴美	加藤 隆	上田 憲治	森忠 弘	北岡 英勝
内山 愛子	長谷 宏	後藤 隆司	伊藤 元二	西塚 善則
近藤日出文	森 重太郎	丹羽八枝子	中野 昭生	伊藤しず子
伊藤 正昭	松平龍太郎	木村美知子	服部 喜義	水谷 米八
五十嵐 巖	倉田 節代	水谷美枝子	中村 直行	
五味眞喜子	森谷 元春	佐藤 利子	早川すま子	
中根 賢治	小林くみ子	伊藤 隆夫	水谷 幸市	
菅谷 明德	藤澤 妙子	息野 和夫	蛭川 尚治	

5年表彰 54名(敬称略)

下山 原一	竹崎啓一郎	森 信夫	竹尾 恵三	鈴木 里江
柴田 幸子	齋藤 敏子	佐久間 敏	伊藤 英和	伊藤 道代
伊藤 雅廣	明瀬 豊幸	伊藤真理子	小川 芳行	馬場 健一
早川つた子	内藤 学	渡邊 彌	伊藤 容子	石井 敏雄
谷崎 正希	吉岡眞沙美	黒木 孝子	渡部 幸子	三輪 義雄
澤田 道春	山端 武雄	渡辺実千代	石川 義也	宮崎 正雄
笠井 妙美	浦山 博美	鬼頭 賢治	平松 良龍	黒川 章夫
坂口 昌洋	金森 克之	伊藤 節子	稲垣 貢	瀬古 静子
長谷川兼一	佐藤千鶴子	小竹 扶佐	山本 歳興	加藤 巖
水谷 幸	太田 宗和	長崎 芳子	柳原 正守	諸戸美奈子
勝又 節子	古財 尚世	伊藤 健一	山田 盈子	

受賞された方おめでとうございます。賞状と記念品は、別途送らせて頂きました。

藤原理事長のあいさつ要旨

令和3年度定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃は、シルバー人材センター事業へのご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響をまろに受け、業績並びに会員数の減少など、大きく落ち込む結果となりました。令和3年度に入っても感染拡大の波は収まらず、ワクチン接種により収束することを願うばかりです。

今年度の総会についても、昨年に引き続き、規模を縮小して開催することになったことは、大変残念ではありますが、今の実情を考慮しますとやむを得ないと思っております。

昨年も申し上げましたが、こうした厳しい状況の中、新しい年度をスタートしたわけですが、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、できることから実施してゆく所存ですので、引き続き会員の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。開催にあたってのご挨拶とさせていただきます。

引き続き、議案審議及び報告事項の説明に入った。

議案審議と報告事項

議案第1号	令和2年度事業報告について
議案第2号	令和2年度収支決算について〔監査報告〕
議案第3号	定款の一部改正について
報告第1号	令和3年度事業計画について
報告第2号	令和3年度収支予算について

令和2年度事業報告

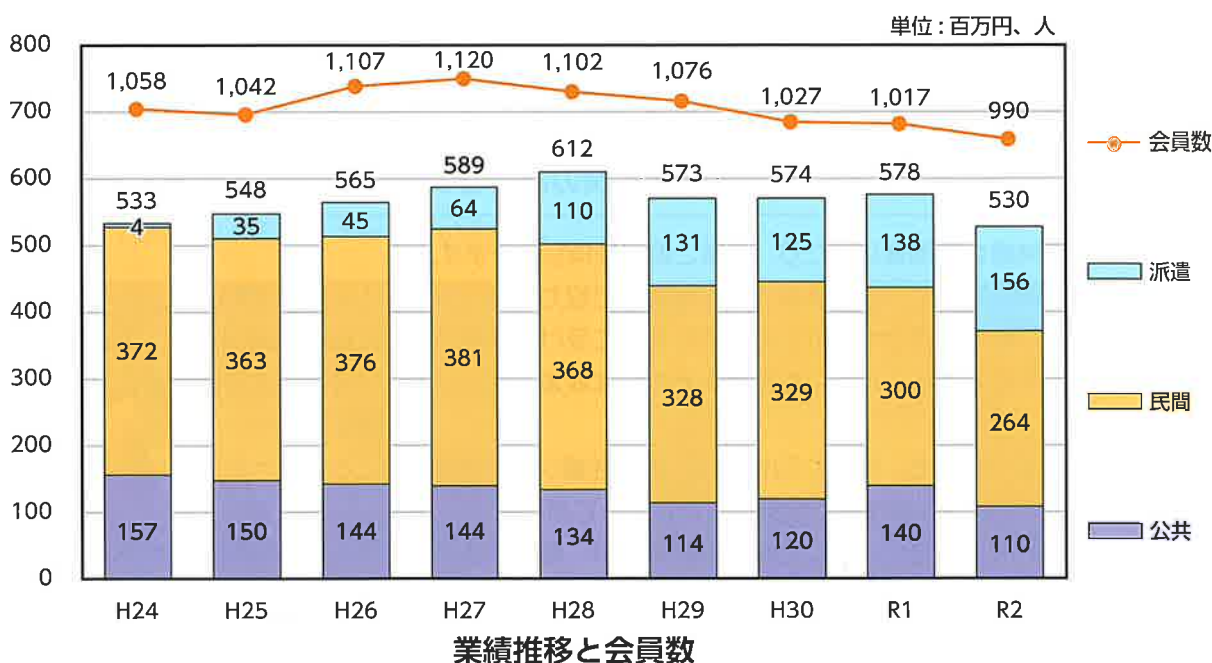
令和2年度は年度当初に予想された定年延長の動きに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による「緊急事態宣言」の発令等、日本経済の急激な落ち込みの影響を大きく受け、契約金額では昨年度より4千7百万円程減少の5億3千万円となりました。業績の落ち込みの主な理由としては、就業先の休業による仕事の減少、各種イベントの中止による影響、就業時間の短縮による減少、就業自体の打ち切り等様々ですが、全般にわたり影響を受けました。令和2年度の事業計画で計画した事業推進に向けた各種取組についても未だ収束しない新型コロナウイルスの余波により、ほとんどが実施できずに終わりました。

会員数については、計画していた市内全地区での入会の地区説明会をすべて中止した結果、昨年度より27人減少の990人となりました。また、求人に関しては、各事業所からの求人の激減により約半分程度に落ち込みました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を最優先事項と捉え、定時総会の縮小開催や講習会等の中止の他、理事会等大きな会場での開催、事務局職員の出勤を一部在宅にしたり、飛沫防止のためのアクリル板の設置や体温測定器を設置するなどの対策を実施するとともに、会員一人一人が体調不良等の際、どの様に対応するかをわかりやすく表した「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を全会員に配布しました。

また、永年の課題であった草刈作業中の事故撲滅のために「草刈作業の安全マニュアル」、「飛石事故の対策」を作成し、安全就業に向けて取組みを開始しました。

さらに、契約金額が減少する中、経費削減にも取り組み、外部委託していた印刷業務を事務局内で印刷したり、事務用品の仕入れ先の変更によるコストダウンにも注力しました。



- 1 会員拡大への取組
 - ①入会促進への取組…地区説明会、各種講習会は見送り
 - ②退会抑制への取組…未就業会員への声掛け
- 2 事業の普及啓発活動
 - ①イベント類は殆どが中止
 - ②ホームページの改善
- 3 就業拡大への取組
 - ①新規企業訪問、ご愛顧訪問
 - ②会員への声掛け、情報提供
- 4 安全就業への取組
 - ①安全パトロール、安全講習
 - ②チャレンジ 123 の参加
- 5 組織の活性化への取組
 - ①イベント類は殆どが中止となりました。
 - ②「ORITURU」の全戸配布、事務局通信



安全パトロール風景

令和 2 年度収支決算

- 1 収入
 - ①契約金額は前年比約 8%減少しました。
 - ②会員数は前年比 27 名減少しました。
 - ③収入額は前年比 13%減少しました。
- 2 支出・収支
 - ①支出については前年比 13%減少し、収支は多少のプラスとなりました。

定款の一部改正

- 1 「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の制定及び「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」の一部改正により、会員の資格喪失の改正を行うものです。

令和 3 年度事業計画

3月17日（水）開催の第157回理事会において承認された令和3年度事業計画が次のとおり報告されました。

昨年度は、新型コロナウイルスに明け暮れた1年であったと言っても過言では無いくらい、日本のみならず、全世界が感染拡大防止のための大型財政拠出をしたものの、出口の見えない状況が続いています。一部の業種を除き多くの企業は業績悪化となり、少なからずシルバー人材センターの業務にも影響が続いています。事業計画を作成するにあたり、従来通りの計画では運営の継続が厳しくなるものと思われます。

こうした環境下、シルバー事業を運営するためにどのような方針を立てるかは非常に重要です。

まず、有効求人倍率が大きく落ち込んでいる中、足元を見るとシルバー人材センター事業は企業業績にリンクして縮小傾向にあると思われますが、一方、2010年の現役世代（20歳～65歳）人口は約7500万人でしたが、



2030年には6300万人と約1200万人減少すると見込まれており、将来において労働力不足が懸念されています。

高齢者が増加する中、社会保障費の増大を抑え、現役世代に極力負担を掛けずに生涯現役社会を実現するため、働きたいと願う高齢者の就業率を高め、地域社会に貢献することは、シルバー人材センターの重要な使命です。

そのために、縮小均衡するのではなく、これからの人口構造を見据え、with コロナ時代を考慮した就業先開拓を会員拡大と並行して推進してゆくことが求められると考えます。

桑名市シルバー人材センターにおいては、その具体的な計画・推進する為に、人的投資を含めた就業先開拓に注力します。

昨年実施した「会員調査」をベースに、具体的にどのように就業先開拓をするのか。又、会員拡大をどのように(特に女性会員)行うのか。会員満足度アップのために、何をやるのか。総括的に実施プランを策定して推進します。

安全対策に関しては、事業を安定的に運営する観点からあらゆるリスクに対して対応できるアウトラインを決め実施してゆきます。

取組重点項目

1	コロナ対策の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止マニュアルの徹底 ・日常対策、事故発生時の対応を考慮して計画
2	会員拡大への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地区説明会の拡大実施 ・就業相談会の継続実施 ・女性部会新設による女性会員拡大
3	事業の普及啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントへ積極参加 ・ホームページを活用し市民にアピール ・公共施設等へチラシの設置
4	就業拡大への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就業先開拓専門員の配置 ・事務局定例会議による未就業会員の就業促進 ・年末ご愛顧訪問の継続
5	安全就業への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の重篤事故発生事例を参考に重点予防策 ・安全バトロールの継続実施 ・安全就業に関する講習会・研修会の開催
6	組織の活性化への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会での部会及びテーマ設定、実行 ・各種イベント参加促進のためポイント制新設 ・会員の交流促進、情報発信の取組
7	安定的な事業運営の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品、備品の購入等の経費削減 ・外部発注を極力削減

令和3年度収支予算

1 収入予算・支出予算共に令和2年度実績並みで計画。

令和3年度の活動計画

定時総会での令和3年度事業計画に基づき4月よりスタートしましたが、残念ながら新型コロナウイルスは収束はおろか再拡大の傾向が出ている中、定時総会の縮小開催を皮切りに、各種イベントも延期を余儀なくされております。

安全就業委員会活動状況

この度、全国シルバー人材センター事業協会において「令和3年度安全就業優良シルバー人材センター」に選ばれ表彰を受けました。選定理由は、安全委員会の設置並びに活動が基準以上実施していることと、傷害事故が過去3年基準以下で優秀との評価を受けたものです。そこで、桑名市シルバー人材センターにおける「安全就業委員会」の活動内容をご紹介します。

『安全就業委員会の活動概要と成果』

・令和3年度の安全就業委員会の活動方針骨子。

安全就業委員会は、「事故の撲滅」を目指して取り組む。

スローガン 「気を抜くな なれた作業に落とし穴」

目 標 ①事故撲滅（就業中、通勤途上、日常生活上）
②健康増進（食事、運動、健診）

活動方針 ①安全と健康への意識を高めるための講習会、研修会の充実
②就業先での安全確認のため、定期パトロールの強化
③再発防止の対応強化



重点的に実施する内容

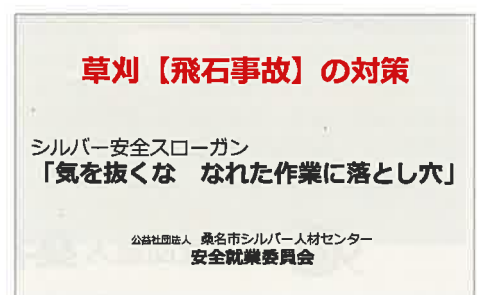
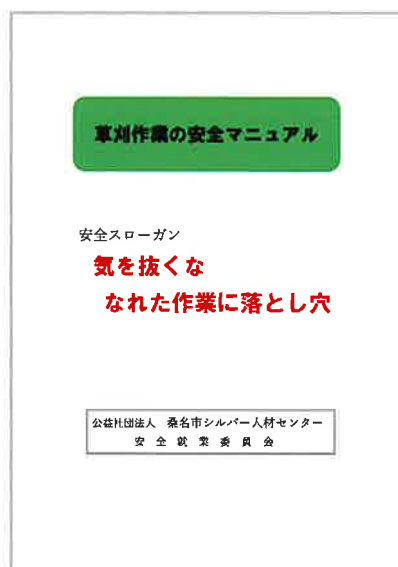
- ①重篤事故を絶対に起こさない：剪定作業中の「転落事故」、通勤途中の「自転車事故」
- ②コロナ対策のマニュアル作成、運用
- ③事故件数削減：飛石対策に重点を絞り、作業マニュアルの運用、チェックリストの運用

令和2年度活動成果

- ①安全講習会の複数回実施。（熱中症、自転車講習）
- ②「コロナ対策のマニュアル」を作成し、全会員に配布した。
- ③事故件数の多い草刈作業における事故防止のため、草刈講習、草刈作業者会議を開催
「草刈作業マニュアル」「飛石対策マニュアル」を作成し、関係者全員に配布した。

基本的な活動は安全パトロール、講習会、安全かわら版の発行等で、「安全は全てに優先する」との思いで、安全就業委員会委員 9 名及び事務局 5 名が一丸となって、日々取り組んでおります。

一気に事故が無くなることはありませんが、1件でも減らせるようこれからも努力してまいります。



行事予定

10/20(水) 安全パトロール

12/2(木) 第161回理事会

11/10(水) 安全パトロール

1/27(木) 第162回理事会

※他のイベントについては新型コロナウイルスの状況を見据えて計画します。

配分金の支払予定日

10/26(火) 11/26(金) 12/24(金) 1/26(水)

派遣賃金の支払予定日

10/25(月) 11/25(木) 12/24(金) 1/25(火)

入会説明会(桑名市シルバー人材センター)

10/19(火) 11/16(火) 12/21(火) 1/18(火)

就業相談会(ハローワーク桑名)

10/13(水) 11/10(水) 12/8(水) 1/12(水)

桑名名所
・旧跡
コーナー

今回は、九華公園(桑名城跡)について、幕末の桑名藩の動向を交えてご案内します。

桑名城は、揖斐川を利用した水城で、川に面した石垣や櫓は七里の渡しの渡船からも眺めることができ「海道の名城」と称えられました。四重六層の天守閣は、元禄14年(1701)に大火で焼失しました。

さて、幕末、高須松平家から養子として藩主になった定敬は、元治元年(1864)京都所司代に任じられ、京都守護職である会津藩主で実兄の松平容保とともに京都の治安維持に努めました。また、一橋慶喜が禁裏御守衛総督に就任すると、政局の中心は京都に移り、桑名藩は幕末の政局に大きな影響力を持つようになります。後に一橋、会津、桑名の一文字ずつを取って、「一會桑政権」とも呼ばれています。

ただ、慶喜の15代将軍就任以降、時代の流れは大きく変化し、旧幕府の影響力は弱体化しました。

慶応4年(1868)1月3日、新政府軍と旧幕府軍とが鳥羽・伏見で戦火を交え、戊辰戦争が始まります。当初、旧幕府軍が圧倒的に優勢でしたが、裏切りが相次ぎ、旧幕府軍は総崩れになり大坂城へ引き上げます。さらに慶喜は、容保と定敬らを連れて江戸へと軍艦で退去してしまいます。翌日には、慶喜追討令が出され、桑名藩など旧幕府軍は「朝敵」とされます。藩主が江戸へ逃走したとあって、桑名藩では混乱に陥り、今後のことについて激しい議論が交わされました。なかなか結論が出ないので結局、藩祖の神前で御籤を引き、江戸へ下って抗戦することと決めます。ところが、下級武士たちが反発し、ついには前藩主夫人が出席した御前会議にて、先の決定が覆り、開城・恭順に決まります。

1月28日、無血開城によって城下は兵火を免れ、藩士たちはいくつかの寺で謹慎。降伏の証として本丸の東南角にあった「辰巳櫓」に新政府軍により火が放たれたのでした。

その後、廃城となり、石垣は四日市港築港の資材として利用、堀は貯木場、一部用地は民間に払い下げられ工場用地となりました。昭和3年(1928)松平定信(榮翁)没後百年祭記念に九華公園として整備され、今では、市民の憩いの場となっています。



辰巳櫓跡地「辰巳櫓」は三重櫓で、天守閣焼失後は、桑名城のシンボリック的存在でした。

編集後記

ここ2年近く新型コロナウイルスの影響で、自粛生活を余儀なくされました。未だ収束には至っておりませんが、ワクチン接種率も上がる中 with コロナ生活を日常生活として取り込む必要が出てきました。現状を見ると、まだ多くの課題が残ってはいますが、一日も早く通常の生活に戻り、仕事に趣味に地域貢献に思う存分エンジョイできる日が来ることを、切に望んでいます。会員の皆様も健康に留意されコロナに負けない強い気持ちで現状を乗り越えて頂きますようお願いしています。編集委員一同



公益社団法人 桑名市シルバー人材センター

桑名市シルバー人材センター 検索
http://www.kuwana-sjc.or.jp/

〒511-0032 桑名市吉之丸11番地 TEL:0594-22-0468 FAX:0594-24-3317